

審判上の確認

審判委員長

- 1 本大会は、2024 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則により実施する。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。また監督およびチームキャプテンは、チーム関係者の言動について責任をもたなければならない。
- 3 両チームのラインアップをスコアラーがスコアシートに記入し終えたら、チームはラインアップを訂正することはできない。ただし、そのセットが始まる前にスターティングラインアップの選手が負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することができる。この変更は選手交代には含まれない。なお、変更は負傷した選手のポジションに限る。
- 4 試合中、監督は自コートベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。着席する場合、その位置は記録席に最も近いベンチとする。
- 5 タイムアウトの要求は、公式ハンドシグナルを明確に示して要求すること。タイムアウトの間、プレー中の選手は自チームベンチ近くのフリーゾーンに出なければならないが、その位置については制限されない。また、タイムアウトは 30 秒であるが、選手は 30 秒を待たずにコートに戻ってもよい。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。
- 6 選手交代の要求とは、交代選手がコートに入る準備をして、選手交代ゾーンに入ることをいう。同じ中断の間に 2 組以上の選手交代をするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンへ出向かなければならない。
- 7 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。タイムアウト、セット間およびレフェリーが危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。
- 8 競技参加者は、スポーツマンとして相応しくない行為はしないこと。判定に疑問がある場合は、ゲームキャプテンを通してのみ質問することができる。
- 9 リベロのリプレースメントは、必ず 1 ラリー挟まなければならない。その際、ボールがアウトオブプレーの間に、チームベンチ前のリベロリプレースメントゾーン内で速やかに行うこと。